

# 藍住町 議会だより

第29号

平成14年5月25日

発行 藍住町議会

編集 議会だより編集委員会

徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前52-1

電話 (088) 637-3127

FAX (088) 637-3156



春のバラまつり

## CONTENTS

定例会	p 2	総体質問・文教常任委員会・視察研修報告	p 14
一般質問	p 4	特別委員会・町民の声	p 15
第1回臨時議会	p 11	議会のうごき	p 16
常任委員会審査結果	p 12		

# 3月定例会

3月定例会が3月7日から25日までの19日間の会期で開会された。  
平成14年度一般会計予算及び条例改正など27議案を原案のとおり可決した。

石川町長は平成14年度の所信表明を行った。

所  
信  
表  
明

## 主な施策方針

### 環境問題

鳴門市・藍住町環境施設組合について、整備計画書を3月1日に県へ提出した。新しく開発される分譲地等へのゴミ集積かご設置について設置基準を見直していく。

### 教育と人権問題

育所では、地域子育てセンターを併設し、育児支援を週2回実施するほか、0歳児の受け入れも行っていく。「一時預かり」は東保育所でも実施し、「子育てに優しい町づくり」「安心して働く町づくり」を目指し、子育て支援がこれまで以上に充実される。

平成15年秋のねんりんピックに向けてのリハーサル大会が11月9日から4日間県下で開催される。本町ではゲートボールが行われるが、必要に応じて組織の見直しを行いたい。

学校5日制への取り組みについては当面、幼稚園における預かり保育を継続するが、さらに幼稚教育の在り方を検討していきたい。

学校の大規模改修については藍住中学校と北小学校の本格設計を行い、平成15年度から着手していく。

給食食器については藍住中学校と南小学校において買い替えを終えている。残りの学校についても、14年度に全て買い替えの予定である。

徳島県における今後の同和行政の方方が答申され、これを踏まえ、これまでの成果を損な

うことのないよう基本的人権の尊重という目標をしつかりと見据えながら同和問題の早期解決を目指していく。藍住町行動計画に基づき、人権尊重の理念が人々の考え方や行動の基準としてしつかりと根付いた町づくりを目指し、積極的に取り組む。

改修予定の藍住中学校



# ●平成14年度一般会計予算●

# 81億 9,700万円

前年度比 4.5% マイナス

## 衛生費 主な予算

東部臨海処分場対策基金負担金として4,288万円。  
西クリーンステーション排ガス高度処理施設整備工事費として11,782万円。

## 土木費

桜づつみ公園整備事業で遊歩道等の工事費として約3,200万円。  
合併浄化槽設置補助金として5,874万円。

## 教育費

消防本部庁舎建築負担金として約5,800万円。

## 消防費

北小学校・藍住中学校の大規模改修設計委託料として2,300万円。

## 民生費

障害者計画策定費用として3,200万円。  
社会参加促進事業委託料として2,011万円。  
保育所保育定員増に伴い約3,000万円増額。  
ファミリーサポートセンター事業運営費で950万円。

## 14年度予算（会計別）の状況

(単位：千円)

会計名	予算額	前年度比
一般会計	8,197,000	△ 4.5%
国民健康保険事業	1,843,000	3.0%
老人保健事業	2,215,468	11.7%
介護保険事業	1,124,000	19.5%
藍寿苑	324,865	△ 1.6%
下水道事業	280,914	267.6%
住宅新築資金等貸付事業	9,910	△ 23.9%
水道収益的収支	389,495	0.04%
水道資本的収支	225,138	31.8%

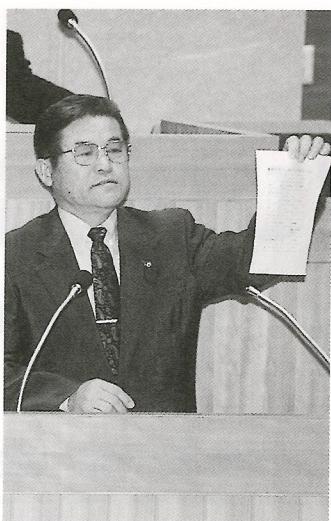
## 3月補正予算（会計別）の状況

(単位：千円)

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	91,000	9,511,000
国民健康保険事業	△ 8,401	1,885,768
老人保健事業	16,795	2,109,232
介護保険事業	30,128	1,139,653
藍寿苑	11,190	343,600
下水道事業	8,610	107,451

# 町政ここが聞きたい

## 議員6人が一般質問



永浜 茂樹 議員

町長の施政方針  
と114億円の町  
借金返済

長は、借入金返済行程表は  
事務方とよく検討したいと  
あつたが、既に3ヶ月。  
検討結果はどうか。私達町  
民に約束した選挙公約〔石〕

川智能後援会会報」で他の  
人では手をつけられない難  
問ですが、毎年確実に11  
4億円の町借入金を返済す  
る。とあり、今後の取り組  
み姿勢、返済方法を明確に  
公表していただきたい。今  
回の予算編成で確かに町債  
の発行は抑えているが、多  
額の基金を取り崩して、そ  
の場しのぎの返済方法であ  
り、根本的な解決策とは思  
えないがいかがか。

平成14年度から事業  
の抑制に努め、新たな  
借入金が元金償還額を  
下回るように設定した。  
返済行程表については、  
総合計画の見直し作業  
を慎重に進め14年度中  
に発表したい。

### 助役一人制

県下50市町村ほとんどが  
助役二人制廃止を打ち出し  
確定している。藍住町でも  
是非助役1人減を図り、收  
入役も廃止して管理職手当  
時間外手当等の削減を図り、  
節減分を借入金返済に充当  
する事が町民の負託に  
応えると考えられるので、  
実現を強く要望する。

人口の増加や、非常  
に大きな課題を抱える  
藍住町にとって、助役・  
収入役は必要である。

### 新年度から開始

町長の12月議会の質問で町  
長は、借入金返済行程表は  
事務方とよく検討したいと  
あつたが、既に3ヶ月。  
検討結果はどうか。私達町  
民に約束した選挙公約〔石〕



陶芸教室（コミュニティセンター）

## ペイオフ対策の条例を提案

平成14年4月からペイオフが解禁され、決算性預金、公金預金等、元本1千万円とその利息を超える部分に保護措置がなくなるが対策はどうか。町指定の金融機

関の見直しと、金融機関が破綻した場合に預けている公金保全のために必要な措置を検討する連絡調整組織を設置し、研修を実施したり、外部イオフ対策条例を定めてはどうか。

金融機関の経営状況等、公金保全のために必要な措置を検討する連絡調整組織を設置し、研修を実施したり、外部専門知識の活用も考えている。基金の保全にかかる保証債務を活用して相殺を行う等所要の手続きを行いたい。

## 条例設置に向けて検討

## 文化協会の設立について

国民文化祭が2007年秋に徳島県で開催される。幸い町内では詩吟、美術、華道、陶芸、俳句、虹の会等その他多くのクラブが積極的に文化活動に取り組み、設立の機運は大変高まっている。この機会に「官民」が一体となり、組織作りに取り組んでいただきたい。

文化協会の設立は、時代の要請であり、町の発展にもつながると確信する。

## 組織化を目指す

文化面において住民二、三は非常に高いものがあると考える。文化協会設立については、14年度から検討していく。

この問題については12月議会でも質問し、今までの各学校は、建設当時はそれぞれ時代に即応した施設であったが、年月の経過と共に老朽化が進み、大変傷んでいるのが現状である。学校の大規模改修も大変重要なが、子ども議会でも要望されたとおり、トイレの問題は学校生活の中で最も身近で大きなウエートを占めており、悩む児童は

## トイレ改修の取り組みについて

多いと聞いている。是非とも早期の「トイレ改修」をお願いしたい。

## 順次取り組む

藍住中学校、北小学校について、大規模改修の中で取り組む。その他の学校についても学校PTAの意見を聴き、年次的に対応していきたい。



藍住北小学校



**森たけし 議員**

帶は「特別の事情のある者」として除外すること。

## 財政再建

平成14年度当初予算は昨年度より4・5%減少し、起債は半減し、財政再建へ一步踏み出した予算編成といえるが、財政再建は住民福祉を守り行うべきである。どのように取り組むのか。

当面は住民福祉を優先させる方針で望みたい。

## 国保税

滞納者への制裁処置（保険証取り上げと資格証の交付、給付差し止め等）と、国保加入者を差別し医療を受けにくくする短期被保険者証交付は中止すること。

制裁処置を実施する場合は、所得減等を含めて、生活保護基準と同程度の低所得世

65歳以上の介護保険料と利用料の引き下げ、低所得者への減免を実施すること。人間らしく生きる暮らしに不足するサービスは町独自の措置をとり、適用外となる要介護者は老人福祉の措置で対応すること。

## 介護保険事業見直し

活用したい  
防犯監視装置等の整備については、補助金を有効活用していきたい。

## 学校施設の充実

「子供の読書活動の推進に関する法律」が昨年成立

現在の先生方に県教育員間の専門指導主事を

「学校の情報化」推進により中学校では02年度から「情報化とコンピューター」が必修となる。必要な教員配置は出来ているのか。

## 学校施設の改修

町内のお母さん方が学校ウォッチングの視察結果を

その他に学校5日制についても質問がありました。

65歳以上の方がサー

ビス事業全体の17%を負担することにより、この制度が成り立つて

いる。支援を受けられない場合についても、現在対応を考えている。

## 同和教育

地対財特法による残事業が3月をもって終了する中で、同和教育（対策事業）を終結し、一般施策への転換、対応をすべきである。

## 国保税の納税意識が薄い

税の公平を尊重しながら、被保険者の立場に立つて事業の健全化に努めていきたい。

## 人権教育 育児を積極的に推進

補助金等の削減や個人給付見直しを行い、これまでの成果を損なわないよう解決を目指したい。



読書を楽しむ児童

## 入札制度

公共工事をめぐり圓藤前知事が収賄で逮捕され、入札・契約制度の確立が求められている。公共工事の透明性を確保する上で一般競争入札は、常識化し競争性が確保され、不正がおきにくいシステムである。町長は公共事業の見直し、入札制度の見直しを公約しているがどう取り組むのか。

## 学校給食

埼玉県では県産農産物を学校給食へ供給し、子供達に農業農産物に対する理解を高めている。本町でも取り入れるべきではないか。

## 努力していく

夏の野菜については県内産が少なく県外産を使っている。今後はできるだけ県内産を利用できるよう努力していく。

## 指名競争入札が最良

平成14年度より予定価格の事前公表を実施し、指名競争入札制度の一層の改善と透明度の高い公平・公正な公共工事の請負契約が実現できるものと考えている。

教育委員会へ報告、改善を求めてきた。議会でも年次的に計画し行うと答弁しているが、進捗状況を求める。

## 14年度本格設計

藍住中学校と北小学校の本格設計を行う。

うばかりである。藍住町でも4年前に「正法寺川公園整備事業」で議員の介在した不正談合があつたとして100条調査特別委員会を設置し、調査した。その際に業者の担当者は「限られた時間内で設計図書を精査する事は極めて厳しい」と証言している。しかし入札後はなぜか100%に限りなく近い落札額である。町長は選挙の際に「この様な入札制度を見直す」との公約を掲げている。にもかかわらず施政方針には「公共工事の見直し」も「入札制度の見直し」も一言も触れていない。一体どういうことなのか。

石川町長は、平成14年度施政方針の中で「藍住町の自主財源は5割程度。少子・高齢化に伴う財政需要の増大は逆に避けられない。そのため施策、事業の厳しい選択、起債残高の抑制などの行政改革の断行を実行する。」とある。この施政方針は、小泉内閣の骨太方針をそのままマネたものであり、具体的な方策が見えてこない。例えば、財政逼迫のおり、助役が2人も必要なのか。現場では毎日、夜遅くまで電気が煌々とついている。残業をしているのである

国会議員やその秘書、又は県知事や市町村長にいたるまで公共事業に群がる業者との癒着の構造は目を覆

## 公共事業について

平成14年度で、一般公共事業については極力減らすよう努めた。今後も住民福祉を優先しつつ大型事業は控えていくつもりである。

議会や関係機関と協議しながら、原則として新規事業は認めない方針で望みたい。

## 競争性を高める

調査研究をはじめ序内部においても十分研究し、住民への情報提供を行うと共に、住民の意見を尊重し共に考えていくべきだ。

## 事業は控えていく

## 財政再建

者感覺での具体的な行政改革はどのようか。



**喜田 敏夫 議員**

うばかりである。藍住町でも4年前に「正法寺川公園整備事業」で議員の介在した不正談合があつたとして100条調査特別委員会を設置し、調査した。その際に業者の担当者は「限られた時間内で設計図書を精査する事は極めて厳しい」と証言している。しかし入札後はなぜか100%に限りなく近い落札額である。町長は選挙の際に「この様な入札制度を見直す」との公約を掲げている。にもかかわらず施政方針には「公共工事の見直し」も「入札制度の見直し」も一言も触れていない。一体どういうことなのか。

## 町村合併で町民は幸せになるか？

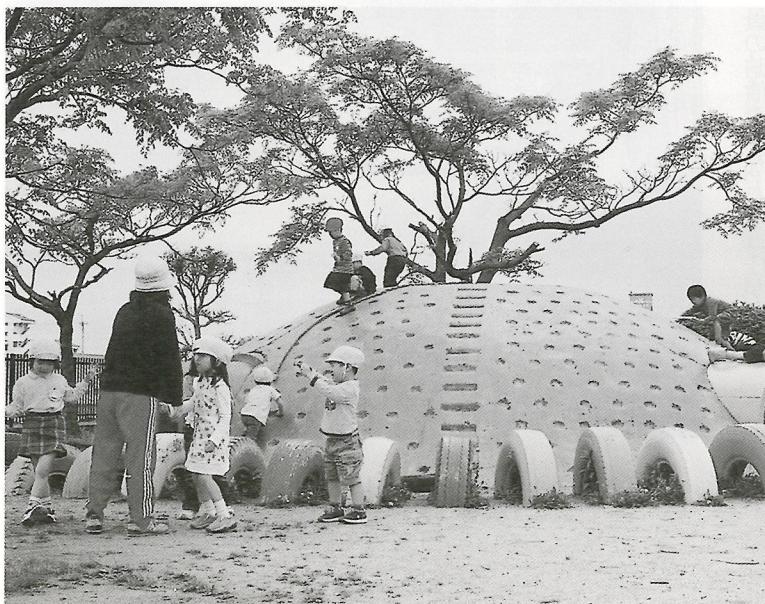
全国的に市町村合併の大合唱である。藍住町も板野郡合併協議会の一員として広報に努めているが、町民がよく判るように合併の功罪を明確にするべきではないか。

広域になればなるほど行政から忘れられた地域が多くなると思うがどうか。

子供を返すので親たちが教育するように」としているが、何がゆとりで何が豊かさなのか判らない。親に返すと言うのは、教育の失敗の責任転嫁ではないか。藍住町の幼保二元化や小学校低学年の学童保育は、今後どうなっていくのか。

曜日から土曜日まで児童館で学童保育を行つておらず、今後も児童館において低学年の学童保育を行つていく。週休2日制については、今後1年間十分に時間をかけて保育所・幼稚園・児童館・学校が一体となつて検討していく。

新しい教育方針の目玉は学校が土・日休みになることである。文部科学省は「子供たちにゆとりと豊かな教育を」「土・日は親に

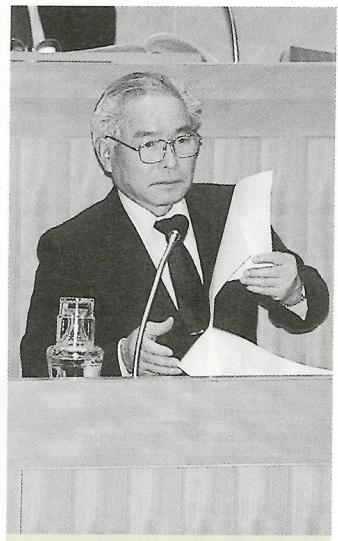


元気に遊ぶ園児達

## 新教育方針で子供達は安心して勉強できるのか？

新しい教育方針の目玉は学校が土・日休みになることである。文部科学省は「子供たちにゆとりと豊かな教育を」「土・日は親に

## 学校一体で検討



西谷 修 議員

## 完全学校週5日制について

4月から小中学校で新学習指導要領が実施され「学校週5日制」が全面的にスタートする。「ゆとりある教育」の実現で、子供達の自由な時間を増やし、様々な体験や活動を通しながら、自立した人格の育成を目的とした学校週5日制の試みには、大きな期待が寄せられている。しかし、子供達の学力低下に対する懸念の声があるのも事実。4月からの「完全週5日制実施」に向けて、その受け皿作りがすでに始まっている。子供達が変化に激しい社会の中で生き抜くために必要で、自ら主体的に判断し、行動する「生きる力」。その力を

藍住町として土曜日の受付皿作りをどのように考えているのか。今後の取り組みについて聞きたい。

## 子育てしやすい町づくり

約10年前の学習指導要領の変更により完全5日制に向けた職員配置を行っている。

銀行等の金融機関が破綻した場合、預金者一人当たり元本1千万円までと、その利息のみ払い戻しを保証する「ペイオフ制度」が4月1日から解禁となる。解禁後は保護対象の範囲が変わると、総務省が各都道府県などに通達したペイオフ解禁への対応策では「金融機関が破綻し、公金預金を失う結果となつた場合、職

員の賠償責任などの責任が発生する場合がある」と自己責任による対応の必要性を明記している。しかし、県内の自治体財政関係者は「軽々に地元を中心とした金融機関との取引を変更すれば信用不安を招きかねない」と苦慮している。県内3市もペイオフ対策として基金を金融機関からの借入金を相殺する方針だが、藍住町などのように考えているのか。基金と借入金はいくらか。

## 児童館の対応について

完全学校週5日制になり、児童館の今後の受け入れ体制は出来ているのか。

## ペイオフ制度について

約10年前の学習指導要領の変更により完全5日制に向けた職員配置を行っている。

金融機関の経営状況の握等必要な処置を検討していく。基金の保全については、町債や一時借入金債務との相殺等所要の手続きを行いたい。

## 検討していく



勝瑞児童館での学童保育

**望ましい環境の実現**  
土曜学校、子供センターについては調査、検討をしていきたい。幼稚園、保育所については子供達にとって望ましい環境の実現を目指していきたい。

教  
育

学校5日制総合学習についてお聞きしたい。

ト 計 洋式トイレ・障害者用  
トイレの設置を要望する。  
男女共同参画社会の実現  
に向けて、低年齢からの  
ジェンダー教育が大切であ  
ると認識していただいている  
が、男女混合名簿の取り  
組みについて伺いたい。

地域の子育て、学校施設の開放、総合学習の実施に向けての町の

アマゾン  
サポートセンター

アミリーサホールセントターの設立について、女性センターでの設置について、条例改正の必要性があると思うがどうか。また、事務機器の充実はどうなつているのか。

西岡 恵子 議員



## 補助金について

教育方針について現在最終的な検討を行つて  
いる。

改修については、大規模改修時に併せて改善できるよう学校やP.T.A.等関係者の意見をもとに十分取り組んでいきたい。

男女混合名簿については学校現場にも検討をお願いしたい。

新設補助金は設けない

新設補助金や増額は認めない。国や県の減額方針に基づき、減額の方向で予算を計上している。

# 危機管理対策について

## 町民参加型社会 の構築

中、役場前町民広場の活用を提案したい。町民交流の場として地元農家の出店やフリーマーケットの開催等を計画・実施することにより地域の交流が生まれるの

## パソコンの設置 を計画

地震学者の発表によるところ  
30年以内に40%の確率でマグニチュード8・4クラスの地震が起ころうるとある。町全体で防災訓練に取り組む必要があると考えるがどうか。

防災マップ配布

センター利用者に支障のない範囲で貸出し、町民交流の場として利用できるよう努めたい。

## ワークシニア ング導入

失業率5・6%、町内に  
おいても長年営業をしてき

昨年は、選挙事務や用地交渉等専門的な業務による時間外が多くみられた。職員の健康維持の面からも、時間外削減を進めていかなければならぬと考える。

町民交流の場

## 時間外削減を進める



町民広場

本町より健全財政であるとされる北島町と松茂町が管理職手当等を削減する。特に北島町では「当面助役を置かない」方針である。さらに羽ノ浦町でも特別職給与と管理職手当を削減。いずれも財政難による経費削減や意識改革が目的である。本町の財政状況も猶予のならない状態を迎えており、各種団体への補助金見直しの方針も打ち出されており、住民に対し削減を強いるのであれば町長以下特別職、管理職が一体となつて住民に対して申し開きが

本町より健全財政であるとされる北島町と松茂町が管理職手当等を削減する。特に北島町では「当面助役を置かない」方針である。さらに羽ノ浦町でも特別職給与と管理職手当を削減。いずれも財政難による経費削減や意識改革が目的である。本町の財政状況も猶予のならない状態を迎えており、各種団体への補助金見直しの方針も打ち出されており、住民に対し削減を強いるのであれば町長以下特別職、管理職が一体となつて住民に対して申し開きが

## 財政健全化の具 体策



古川 義夫 議員

出来的土壤をつくるべきである。

助役と収入役の存在そのものについて疑問を感じている。起債返還のめどが立つまで、助役・収入役は置かず、その人件費を福祉政策や教育行政に充てることを検討してもらいたい。



老朽化している掲示板

## 慎重に対応

特別職給与は長年据え置き他町よりも低い。管理職については、財政問題に関する事態の深刻さも浸透しており、慎重に対応し結論を出していきたい。

収入役を置いていない他町については、予算規模も本町の比でなく、藍住町としては行政事務執行上必要である。

町内には公告式条例に基づき23箇所の広報掲示板があるが、相当傷んでいる。中には工事等により、抜かれたままの所もあり、掲示板の役目を果たしていない。町行政を広く町民に知らせる意味からも掲示板は必要

上での大きなイメージダウンと考える。勝瑞城館跡の整備事業等、歴史や文化の香り高い町づくりを進める上での再配置を希望する。

## 助役・収入役について

助役・収入役は必要

## 地域の環境整備

であり、アルミ製等耐久性と美観に優れたものに立て替えてはどうか。

アルミ製等の鍵のかかる物に変えたり、公告式条例や公告の方法そのものも併せて考え直したい。近い将来、インターネットによる公告を可能なものにする方針で検討したい。

文化財の説明板については現状調査をして、説明内容についても十分検討していきたい。

## 早急に応急修理



# 感謝狀 贈呈

3月25日藍住町議会議員に対する感謝状贈呈式が行われ、議員として在職期間が30年に達する者として、浜宏議員に町長より感謝状が贈られました。

浜 宏議員 在職30年

# 平成14年 第1回臨時議会

2月26日の第1回臨時議会において常任委員会、特別委員会などの委員会構成が再編成されました。

# 總務常任委員會

委員長 副委員長 員 長  
森木内眞三郎 森木内眞三郎  
嶋崎工子 嶋崎工子  
江佐野慶一 江佐野慶一  
西新策 一 西新策

委員長	喜藤川田	犬伏芳夫
副委員長	永浜安夫	修樹
員	西谷茂夫	修夫
森古川義彪	田安夫	芳夫
	藤川修	

監査委員  
生越貞吉

犬佐  
伏野  
芳慶  
夫一

板野西部青少年補導  
センター組合議会

喜生越貞修吉

鳴門市・藍住町環境  
施設組合議会

江 濱 東  
西 條 照  
新 策 宏 幸

農業共濟組合議會

江西新策

## 総務常任委員会

3月19日、総務常任委員会が開催された。

電子計算機管理費の住民ネットワークシステム等関係委託料の内容については、全国どこでも住民票がとれる電算処理システムの委託料が計上されている。

ペイオフの問題については、現在のところ四国管内、徳島県内の金融機関の信用度は高いと考えている。具体的な対策については、土地開発公社、教育施設整備公社等担当関係者と収入役、出納室、財政担当者で協議して対応したいとのことであつた。

ファミリーサポートセンターについては、提供する方、受ける方が登録し、現在藍住町・松茂町・北島町の3町共同で設置を進めているとのことであつた。

また、福祉の町として、知的障害者の支援センターの設置を要望した。

## 文教常任委員会

3月13日、文教常任委員会を開催した。

小中学校総務費の委託料の中で、修繕工事設計委託料と、大規模改修設計委託料の違いについての質問があつた。大規模改修については、平成14年度に北小学校と藍住中学校を予定し、修繕工事設計委託料については、残りの8校について緊急を要する修繕が必要となつた場合の委託料であるとの説明を受けた。

藍の館の入館者数が減つてることについて、その対策として観光客が楽しめるイベントや、町民が利用できるように文化的催しや生涯学習の場として使うことは出来ないかといった意見が出された。

今後によりよい運営方針について十分協議を行ふ予定であるとのことであつた。

## 建設産業常任委員会

大規模改修事業費の工事請負費については、敷地団地ベランダの天井のモルタルが落下の危険があり、手すりの腐食があるため、前年度から年次的に補修をしている。

道路簡易舗装費の町道舗装工事の5千万円については、道路の舗装が住民の生活に密着しているため予算を倍額計上した。要望があれば現場を見て優先順位により施工したいとの説明であつた。

3月15日、建設産業常任委員会が開催された。審議に先立ち、第34号議案・町道の路線認定について、第35号議案・町道の路線変更について現場視察を実施した。視察後、付託された8議案について審査を行つた。



現場視察をする  
建設産業常任委員会

## 常任

## 厚生常任委員会

介護予防生活支援事業費の緊急通報装置設置工事費について、どのような装置かという質問に、警備会社と委託契約を結び、緊急時の連絡が入るよう独居老人や高齢者世帯に取り付けている装置で、現在70世帯に設置されている。今後、加入世帯は増えると思われる。

3月18日、厚生常任委員会を開催した。付託された議案について審査を行つた。

老人福祉総務費のねんりんピック実行委員会補助金について質問があり、県からの補助金と町の一般会計からの補助金により運営され、本大会でも補助金確保はできるとのことであつた。

中央クリーンステーション収集車購入については、現在5台の収集車を所有し10年程度の年数が経過しており修繕と購入を比較して行う。業者選定はデイーラーを指名し、指名競争入札を行うとの説明だつた。

総

体

会

質

問

報

吉

自治会解散があると聞く  
がどのように考えていくのか。

不燃物等の処理委託料が  
年々増えていくがどのように  
考えていくのか。

総務課としても苦慮し  
ており地域の皆様にご  
理解ご協力をお願ひす  
るしかない。

処理機一体の金額を下  
げていく努力をしてい  
きたい。

介護予防生活支援事業の  
緊急通報装置とはどのような  
装置か。

教育用コンピューター借  
り上げ料について 一台1  
60,000円と聞くが無  
駄が多い。すぐ新機種が出  
る点についての対応はどう  
なっているのか。

高齢者世帯の方が警備  
保障会社に連絡を取り、  
その容態に対応するた  
めの装置である。

教育長、町長を交え検  
討したい。

## 文教常任委員会

2月18日、文教常任委員会において、4月から実施される学校5日制に伴う幼稚園等の土曜日休園措置について協議が行われた。

土曜日保育については、児童館で対応していきたいとの運営方針の説明があつたが、幼保一元化について

は、他の自治体では考えられないような特色あるすばらしい取り組みで、教育は

藍住町の将来に対する先行投資であり、親が働きやすい環境づくりを行政サイドとして行い、幼保一元化を充実すべきであるなどの意見が出された。

これを受けて、1年間は再検討と準備期間として、幼稚園の土曜日は従来通りの運用を行うとの報告がされた。



青森県中部上北清掃センター

2月21日から22日視察研修を実施し、香川県長尾町の東部清掃施設組合と、青森県東北町の中部上北清掃センターへゴミ処理施設の整備について研修をした。

香川県長尾町は、シャフト式熱分解ガス溶融炉でゴミ処理を行い、有害成分の発生抑制に優れたシステムで環境対策は万全との説明であった。

## 視察研修報告

であつた。

青森県東北町は、流動床式ガス熱分解溶融炉を使用し、この施設は流動床式の都市ゴミ用ガス化溶融炉としては、日本における実用1号機とのことであった。

両施設ともに建設当時の

メーカーの最先端の技術を発揮して完成させたものであつた。

# 特別委員会



### 正法寺川を視察する委員

3月20日、環境衛生特別委員会が開催され、西村議長の下で、リーンシステムを現地視察し、委員から質疑や意見が出された。

また、理事者からは新分譲地へのゴミ集積所の設置規定の見直しを行い、8戸以上の分譲地について指導している。ただし、既存の分譲地については、規定はそのままであるとの報告がされた。

家庭用生ゴミ処理機の普及についても、現在約20

町議会での議員の発言には、町政に対し、反対や批判的なものがあるなどの声があります。

本來議員の発言は自由で  
あるべきなのに、反対や批判のためだ、等と批判され  
ることになれば、正当な発言でした。

環境衛生特別委員会

町民の声

乙瀬井上常男

冷静に議会活動を見守ろう

## まちづくり特別委員会

卷之三

3月20日、まちづくり特別委員会が開催され、正法寺川浄化設備、桜づつみ公園の現場視察を実施し、その後協議を行つた。

## 正法寺川の浄化について、 現在建設中の浄化設備より

下流の浄化対策についての質問が出された。本村川か

現在の浄化設備が稼動して  
ら流れ込んでくる部分は、

おり、状況を見て浄化設備を作る計画であるという説明であった。今後、県への申し出を行い、より一層の浄化、水辺の環境づくりに取り組むよう要望し、それに対し、県と協議して浄化対策が出来るよう努めたいとのことであつた。

桜づつみ公園については、管理体制と予算についての

質問があり、シルバーセンターや精神支援センター等にお願いする予算は正法寺川公園の1万円程度を計上するとしてあつた。今後の答について、子供が水遊びする小川や池、芝などの安全面に十分配慮する要望した。

編集委員会では町民の喜びの投稿を募集しています  
議会や町政に関するご意見をお寄せ下さい。

投稿規定

一、住所・氏名・電話番号を明記

三、掲載時に若名を希望する方は申し出て下さい。

三、字数は五〇〇字以内  
四、投稿者の多い場合に

は、掲載月を調整する場合があります。

誘致問題等さまざまな問題の質疑において、その対応をめぐり、疑問の町政に対し、主として野党議員から反対や批判的な発言があつたのは事実です。しかしそれは、あくまでも町政の監視役として、町民の利益を守るための議員としての当然の責務であつて、反対や批判のためではありません

までの講演は見られませんで  
した。

視察等、相当な努力を要します。その負担は大変だと思いま  
県議には、多額の政務調査費がありますが、町議には全くありません。

は全くありません。  
このように、前向きに取り組んでいる町議もいるのです。那人達の実情を理解し、冷静に議会活動を見守りたいものです。

# 議会のうごき

**2月**

7日	3月議会開会	3月
28日	議会全員協議会 教育施設整備公社理事会	議会全員協議会 議会運営協議会
1日	着任式	中央保育所落成式
9日	小学校・中学校入学式	県道徳引バイパス名称選定委員会
19日	町村議会新任職員研修会	
25日	板野農業改良普及協議会と鳴門地区農業改良普及協議会合併予備契約調印式	第53回県議長会定期総会 自治功労者表彰式
26日	臨時議会	議員研修（香川県・青森県）
28日		板野郡議長会第1回定例会
14日		徳島県市町村トップセミナー
15日		文教常任委員会
18日		板野農業共済組合議会
19日		板野農業共済組合議会
21～22日		議員研修（香川県・青森県）
22日		議員研修（香川県・青森県）
25日		議員研修（香川県・青森県）
26日		議員研修（香川県・青森県）
27日		議員研修（香川県・青森県）
29日		議員研修（香川県・青森県）
12日	3月議会一般質問	
13日	文教常任委員会	
15日	建設産業常任委員会	
16日	小学校卒業式	
18日	厚生常任委員会	
19日	総務常任委員会	
20日	環境衛生特別委員会	
22日	まちづくり特別委員会	
25日	組合全員協議会	
27日	鳴門市・藍住町環境施設離任式	
29日	板野東部消防組合議会	

**4月**

1日	着任式	中央保育所落成式
9日	小学校・中学校入学式	県道徳引バイパス名称選定委員会
19日	町村議会新任職員研修会	
25日		第53回県議長会定期総会 自治功労者表彰式
26日		板野西部補導センター議会
27日		鳴門市・藍住町環境施設組合議会定例会
29日		板野東部消防組合議会



開園した東中富桜づつみ公園

## 本会議を傍聴しませんか

本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴するには、本会議当日、先着順に受け付けていますので、議会事務局の受付までお気軽にお越し下さい。

なお、傍聴席の定員には限りがありますのでご了承下さい。

## 定例会案内

次の定例会は6月です。

次号は8月に発行します。

●お問い合わせ●

議会事務局 ☎ 637・3127

## 編集後記

「悔しくて、悔しくて」と大見得をきったものの逮捕され、県議や首長への選挙資金授受も表面化した。世の中のリーダーであるべき政治家の姿とは程遠い。大多数の庶民は経済不況に悲鳴をあげているのに指導的立場の人たちの力ネにまたされた堕落は職業人としてのモラルもプライドのかけらもありません。

「世直し」と思うが一体どうすればいいのでしょうか？ せめて個々人が夫々の職域で政治、経済、文化を見つめなおしていくしかないのでしょうか。

## 議会だより 編集委員会

委員長	喜田敏夫
副委員長	西岡恵子
委員	永浜茂樹
委員	西谷修
委員	古川義夫